

ADHESIVE DEVICE

(JP06171270)

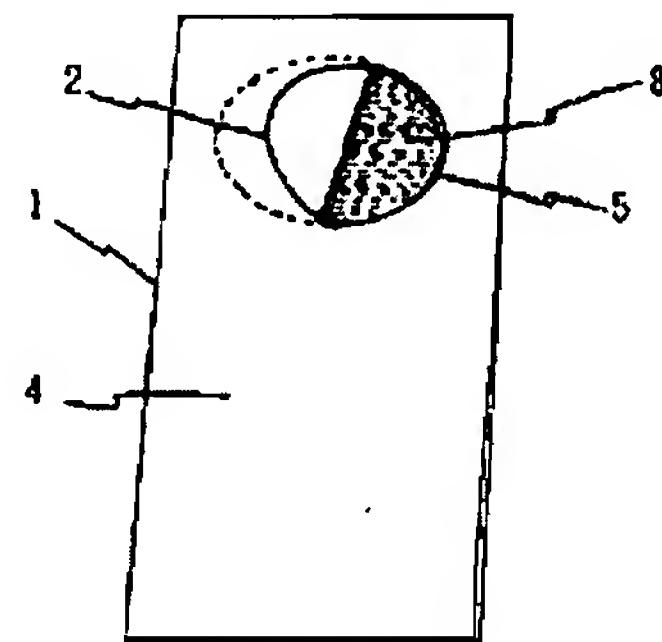
接着装置

(JP06171270)

PURPOSE: To facilitate printing, etc., with the rear surface of a sheet kept flat and smooth sticking and peeling, by making an adhesive device by a method in which a recess is made in the rear surface of a sheet, such as a name card, and an adhesive contained in the recess is covered with protective paper.

CONSTITUTION: An adhesive device is made by making a recess 3 in the rear surface 4 of a sheet 1 such as a visiting card, card, postcard, photographic print or poster, and by covering an adhesive, contained in the recess 3, with protective paper 2. Thus, the rear surface 4 of the sheet 1, with the adhesive disposed inside, is kept flat, and printing, etc., on the rear surface 4 of the sheet 1 is attached to an object by peeling the protective paper 2, thereby exposing the adhesive contained in the recess 3. At this time, since there is a difference in level between the recess 3 and the projection 5 in the vicinity of it, other parts are prevented from being covered with the adhesive, and the sheet 1 can be easily peeled if unnecessary.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



Inventor: KOSHA HIROMOTO

Patent Assignee: KOSHA HIROMOTO

Orig. Applicant/Assignee: (A) KOSHA HIROMOTO

Patent Assignee History: (A) KOSHA HIROMOTO

©Questel

FamPat family

	Publication Number	Kind	Publication date	Links
	JP6171270	A	19940621	
STG:			Doc. laid open to publ. inspec.	
AP :			1992JP-0356199 19921201	

Priority Nbr: 1992JP-0356199 19921201

©Questel

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-171270

(43)公開日 平成6年(1994)6月21日

(51)Int.Cl.⁵

B 42 D 15/00
15/02

識別記号 371 8604-2C
501 A 7008-2C
521 7008-2C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全4頁)

(21)出願番号

特願平4-356199

(22)出願日

平成4年(1992)12月1日

(71)出願人 000166074

古謝 宏元

沖縄県中頭郡北谷町字砂辺346番地の2

(72)発明者 古謝 宏元

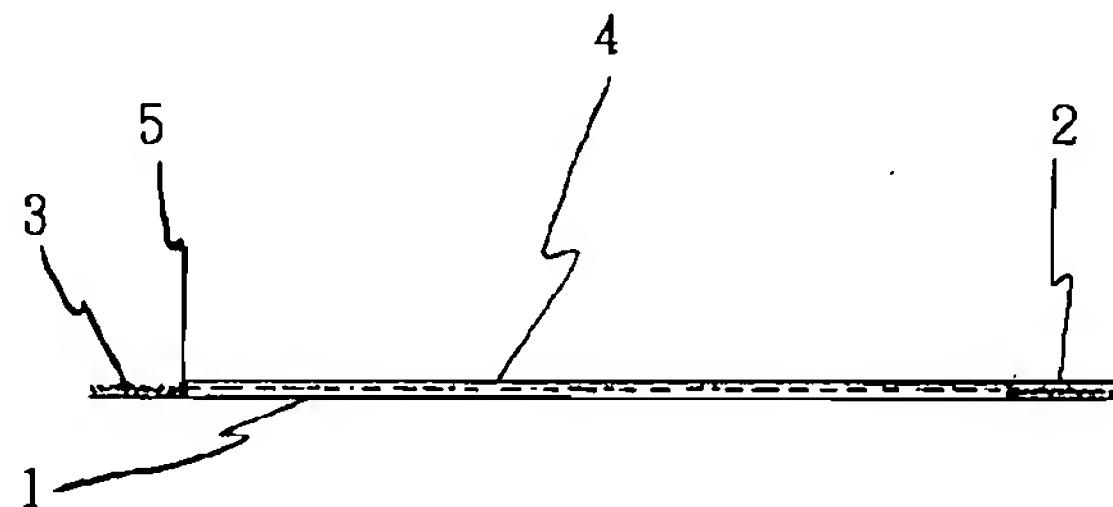
沖縄県中頭郡北谷町字砂辺346番地の2

(54)【発明の名称】接着装置

(57)【要約】

【目的】 本発明は、用紙(写真プリントを含む)の表面・裏面等に凹部接着面(3)を設置して、凹部接着面(3)を保護紙(2)で蓋をしたものですから、用紙(写真プリントを含む)の両面は平面である。したがって普通の用紙(写真プリントを含む)に印刷・写真プリントをするように、容易に接着面を内蔵した名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等を作成する事を可能にするための接着装置に関するものである。

【構成】 図1に示すように接着剤を凹部(3)に保護紙(2)で蓋をして内蔵する事で、これらの名刺・カード・ハガキ・写真プリント等の裏面(4)を平面にしたこと、及び保護紙(2)を剥がして凹部接着面(3)の辺の凸部(5)との関係で段差がありますので凹部接着面(3)に復元力がある事を特徴とするものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等の用紙の裏面に凹部を形成して、その凹に内蔵した接着面を保護紙で蓋した接着装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品等を貼り付けるための接着装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等を貼り付けるのに糊を直接、これらの裏面に塗り付けたり、押しピン・接着テープ等を使用していますが多大な手数と、これらの物に傷を付けたりするようになりました。又、これら名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等の用紙の裏面に両面接着テープ・両面接着シール等で接着面を設置したり、あるいは、これらの用紙の裏面に直接に接着剤を塗り付け保護紙で保護した場合、いずれも、これらの用紙の裏面が凸状になり、接着面がベタ付き剥がしにくい構造である。したがって、このような従来の名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等の用紙の構造では、接着面を内蔵しながら名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等を作ることも、きわめてむずかしく多大の手数と熟練を要するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、手数と熟練を要しないで容易に接着面を内蔵した名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等を作ること、及び接着しても剥がしやすい構造の接着面を内蔵した名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等を作ることを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 図1・図2に示すように接着剤を凹部(3)に保護紙(2)で蓋をして内蔵する

ことで、これらの名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等の用紙の裏面(4)を平面にしたこと、及び保護紙(2)を剥がして凹部接着面(3)の辺の凸部(5)との関係で段差がありますので凹部接着面(3)に復元力がある事を特徴とするものである。

【0005】

【実施例】 図1は、本発明を用紙の裏面(4)の両端に設置した接着装置の実施例の断面図、図2は、本発明の接着装置の実施例の斜視図である。

【0006】

【発明の効果】 このように構成したから、図1・図2に示すように凹部接着面(3)を保護紙(2)で蓋することで名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等の用紙の裏面(4)が平面になり、容易に印刷・プリント等が出来、接着面を内蔵した名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等を容易に作ることが出来る。又、凹部接着面(3)の蓋をしている保護紙(2)を剥がして凹部接着面(3)を接着するところに接着させて凹部接着面(3)の辺の凸部(5)との関係で段差があり、凹部接着面(3)に復元力がありますので従来のようにベタ付く事がなく必要なくなったとき、これらの名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等の用紙(1)を剥がすのに便利な構造である。

【図面の簡単な説明】

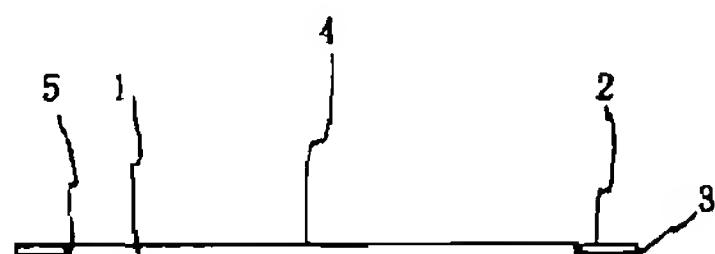
【図1】 本発明を用紙の裏面(4)の両端に設置した断面図。

【図2】 本発明の接着装置の斜視図である。

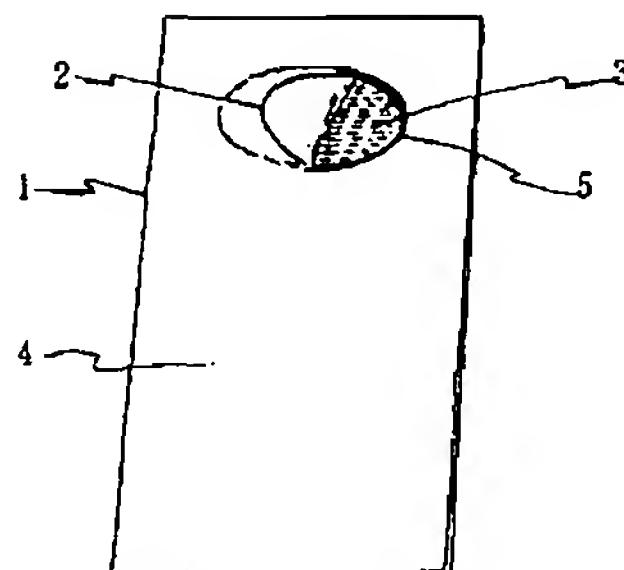
【符号の説明】

- 1 名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等の用紙。
- 2 保護紙(蓋)
- 3 凹部接着面
- 4 名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター等の裏面。
- 5 辺の凸部

【図1】



【図2】



【手続補正書】

【提出日】平成6年1月18日

【手続補正2】

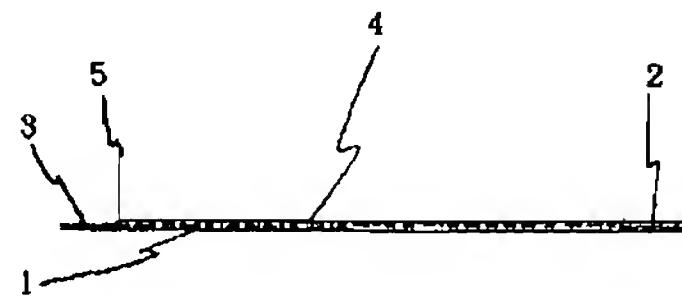
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全文

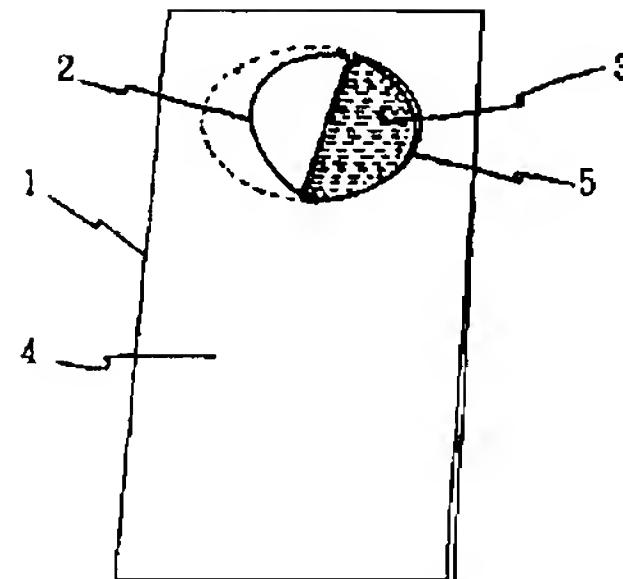
【補正方法】変更

【補正内容】

【図1】



【図2】



【手続補正書】

【提出日】平成6年1月26日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】接着装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等の用紙(1)の裏面(4)に凹部(3)を形成して、その凹部(3)に内蔵した接着剤を保護紙(2)で蓋した接着装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等を貼り付けるための接着装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、名刺・カード・ハガキ・写真・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等を貼り付けるのに糊を直接、これらの裏面に塗り付けたり、押しピン、接着テープ等を使用していますが多大な手数と、これらの物に傷を付けたりする事がありました。又、これら名刺・カード・ハガキ・写真・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等の裏面に両面接着テープ・両面接着シール等で接着面を設置したり、或いは、これらの裏面に直接に接着剤を塗り付け保護紙で保護した場

合、どっちも、これらの裏面が凸状になり、接着面がベタ付き剥がしにくい構造である。したがって、このように名刺・カード・ハガキ・写真・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等に接着面を内蔵する事は極めてむづかしく多大の手数と熟練を要するものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】解決しようとする問題点は、従来の名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等の用紙に接着面を内蔵した場合、これらの用紙の面(表裏一体)が凹凸状態であるため、これらの用紙に印刷をしたりすること、及び写真等を大量に作ることは極めて困難である点。

【0004】

【課題を解決するための手段】図1・図2に示すように接着剤を凹部(3)に保護紙(2)で蓋をして内蔵することで、これらの名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等の用紙の裏面(4)を平面にしたこと、及び保護紙(2)を剥がして凹部接着面(3)の辺の凸部(5)との関係で段差がありますので凹部接着面(3)に復元力がある事を特徴とするものである。

【0005】

【実施例】図1は、本発明を用紙(1)の裏面(4)の両端に設置した接着装置の実施例の断面図、図2は、本発明の接着装置の実施例の斜視図である。

【0006】

【発明の効果】このように構成したから、図1・図2に示すように凹部接着面(3)を保護紙(2)で蓋することで名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター

・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等の用紙の裏面(4)が平面になり、容易に印刷をしたり、写真等を作れる事が出来、接着面を内蔵した名刺・カード・ハガキ・写真・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等を容易に作ることが出来る。又、凹部接着面(3)の蓋をしている保護紙(2)を剥がして凹部接着面(3)を接着するところに接着させても凹部接着面(3)の辺の凸部(5)との関係で段差があり、凹部接着面(3)に復元力がありますので従来のようにベタ付く事なく、これらの名刺・カード・ハガキ・写真・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等を剥がすのに便利な構造である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を用紙(1)の裏面(4)の両端に設置した断面図。

【図2】本発明の接着装置を内蔵した用紙(1)の斜視図。

【符号の説明】

- 1 名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等の用紙。
- 2 保護紙(蓋)
- 3 凹部接着面
- 4 名刺・カード・ハガキ・写真プリント・ポスター・カレンダー・絵画・宣伝用品・書類等の裏面(表裏一体)。
- 5 辺の凸部